

ファーム伊達家からのおたより

ようこそ畠へ

2009年8月24日(月)、27日(木)VOL.10

伊達家の畠では、約40種類以上の野菜を育てています。3月下旬から種まきを始めて、もうすぐ最後の種まきをします。

野菜には旬があります。「旬」は食べる時期という側面から語られることが一般的ですが、野菜を育てる農家の立場からすると、「種をまく時期」「苗を畠に植える時期」という意味での「旬」も大切です。

豊滝で野菜を作りはじめて2年目のことでした。5月25日に霜がありました。かぼちゃ、ズッキーニ、ナス等の苗は霜に弱いので、霜にあたると枯れてしまいます。実際その時は、周囲の家庭菜園の苗が枯れていきました。ホームセンターなどで苗が売り出されると畠に植えたくなるのが人情ですが、豊滝は標高約300メートルにあり、同じ札幌市内でも東区や北区にある畠と同じ時期に植えるわけにはいきません。僕は農家で、しかもカボチャもズッキーニもナスも自家採種したものを使っているので、霜で枯れてしまっては困ります。ですから、安全第一で苗を植える時期を決めなければなりません。そして、苗を植える時期から逆算して種まきの時期が決まります。

こうしてみると、自然には必ず適した「時期」というものあり、そしてその時期は、その土地で違うことは言うまでもありません。それぞれの野菜の性質を知り、その野菜に適した「時期」をみいだしていくことが大切だと考えています。

伊達家の食卓

【ナス】自家採種6年

「真黒（しんくろ）ナス」という伝統的な品種です。戦前に東京地方で人気があった品種ですが、今はほとんど作られていない貴重なものです。

縦切りにして、フライパンで焼いて食べるのがおいしいです。

【ズッキーニ】自家採種6年

先日の雨と風で少し傷がついたものがありますが、まだまだ楽しめそうです。素揚げもおいしいです。